

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2019
October
No.1092 10月

表紙 4万4000人が訪れ盛り上がりを見せた
「ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019」



Pick up

- ・ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019が開催されました
- ・開町記念式典で2人の功労者を表彰
- ・教育行政の進むべき方向性
- ・本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します



ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019の終了御礼

8月31日・9月1日の両日、利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第23回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019は、両日とも天候に恵まれ、2日間で約4万4000人にご来場いただき、大盛況にて終えることができました。十勝管内をはじめ、道内外からご来場いただいた皆さま、また、イベントにご理解、ご協力賜りました企業、団体、協賛各社と会場周辺の自治会、そして町民の皆さまに改めて心より感謝申し上げ、終了のあいさつといたします。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会 会長 朝 日 基 光



ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019

本別最大のイベント、第23回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019（実行委員会主催）が8月31日、9月1日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。

**4万4000人の来場者が
イベントを満喫**

第23回目を迎えた今年のほんべつきらめきタウンフェスティバル。初日は、あいにくの小雨模様のスタートとなりましたが、夕方の東十勝花火大会が始まるころにはすっかり雨もあがり、初秋の夜空に打ち上げられた6500発の花火が大輪を咲かせ、2日目は晴天に恵まれた中、純烈や岡本真夜さん出演の歌謡ショーや戦隊ショー、ボニーばんばレースなどの多彩なプログラムのほか、両日とも会場では、地元の食を楽しむうまいもの市や友好都市小松島市物産市、包括連携協定を結ぶ白糠町物産市などが行われ、来場者を楽しませました。この他、子供たちに人気のふわふわランドや2日ともイベントの最後に豪華景品の当たるお楽しみみ 抽選会などたくさんの方で、町内外から訪れた約4万4000人の来場者たちは、「見て、食べて、飲んで、遊んで」、たくさんのイベントを満喫しました。





功労者表彰 受賞者の皆さん



高瀬和子さん
緑町61番地



小川末男さん
緑町51番地

平成7年に本別町民生委員児童委員に委嘱され、その使命をよく認識し、今までの20年以上の長きにわたり、本別町民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意を注がれるなど、その献身的な努力は地域住民が等しく敬愛しているところである。

また地域の実情に精通した適切な指導に努められ、誠意をもった援護活動を通じて健全な地域社会づくりに貢献され、十勝総合振興局長表彰、北海道社会福祉協議会会长顕彰を受賞されている。

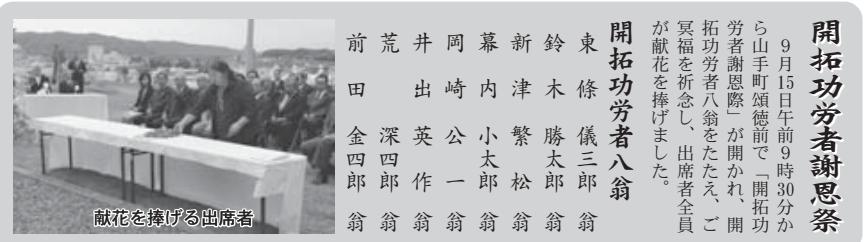
これらの地域福祉の向上および児童福祉の増進に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。

令和元年度 本別町開町記念式典



式典には関係者など約60人が出席し、町長が「各方面から大きなお力添えを賜り本年で百八八年を迎えました。本年は5月1日に元号が変わり新しい令和の時代が幕を開け、この新しい時代を厳粛に受け止め、本町が過ごした明治から平成の4つの時代を振り返ながらちづくりの原点を思い返し、本町のより一層の発展に向け心新たにしたところです。国内の情勢では、日韓関係の悪化に伴う大きな経済影響や10月からの消費税増税に伴う消費活動の低迷が懸念されています。経済沈滞の懸念もある多くの課題を抱え混迷を続けておりますが、これからも先人より受け継いだ不屈の開拓精神を遺憾なく發揮し、本別はもとより我が国が直面する課題に立ち向かいながら確実に克服し歩み続ける所存であります。町民一人ひとりが誇りを持てる町として発展するよう弛まぬ努力をしてまいりますので、町民各位の一層のご協力をお願いします」と式辞を述べ、永年にわたり町発展のため尽力された2人の功績者を表彰しました。

高橋利勝町議会議長が芻辞を贈り、受賞者を代表して小川末男さんが「この感激を肝に銘じて、本別町の発展のため微力ながらより一層の努力をしてまいります」と謝辞を述べました。



本別町開町記念の9月15日、開拓功労者謝恩祭が山手町領徳前で、令和元年度開町記念式典が中央公民館で執り行されました。

9月15日午前9時30分から山手町領徳前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が獻花を捧げました。

開拓功労者八翁
前荒井岡崎公一翁
田出深四郎翁
金四郎翁
東條儀三郎
鈴木勝太郎
新津繁松翁
内小太郎翁
翁



本別町教育委員会
(平成31年3月31日現在)

職名	氏名	職業等
教育長	佐々木 基裕	
教育長職務代理者	布施 耕一	農業
教育委員	鈴木 清志	獣医師 (非常勤職員)
教育委員	丑若理恵	農業
教育委員	遠山倫子	主婦

者意見等を踏まえて、効率的な教育行政を推進するためには、毎年行っているもので、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめたものです。

この報告書は、町議会に提出するとともに広く町民の皆さんに公表し、次年度以降において更なる事務改善を図りながら効果的な教育行政執行に努めてまいります。

今後の方向性

教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保については、中立公正が極めて重要なことから、従前からの合議制を堅持しつつ、一貫した方針のもとで執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取り組みを推進していくことは、「ほんべつ学びフェスタ」を通して学びの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域と連携して四つの風（光風・祈風・夢風・実風）事業を開展してまいります。

平成31年度は、先導導入の勇足地区と合わせ全町的な「コミュニティ・スクール委員会」を設置し、両協議会の円滑な活動のために情報の共有と各委員の資質の向上を目指します。

今後におきましても、効果的な教育施策を展開するため、教育委員会の重要性と教育委員としての認識を高め、町民の皆さんに理解されるよう情報を発信し、教育委員会として教育行政の執行に努めてまいります。

〔平成30年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書〕の全文については、本別町公式ホームページでご覧になれます。
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

問い合わせ

教育委員会 管理課総務担当
☎ 0155-251-8128



町教育委員会では、「平成30年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

教育行政の進むべき方向性

平成30年度教育委員会活動状況 活動状況点検・評価報告書（抜粋）

▼教育委員会会議の開催状況

(1) 每月1回の定例会議および臨時会議

合計14回(3件の議案を議決)

※いつも移動教育委員会会議は、町内小中学校で計3回開催

▼法規・規則等の制定および改正状況

(1) 教育委員会関係
規則の制定一件

要綱の廃止一件

▼教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会関係事業
各学校関係各種事業 計13日・延べ30人

(2) 各種会議等審議概況

(1) 社会教育委員会 3回

(2) スポーツ推進委員会 4回

(3) スポーツ賞審議会 1回

(4) 学校給食運営委員会 1回

▼自ら点検評価

平成30年度の一般会計予算総額に占める割合は8.5%となっています。

▼教育費予算の状況

24万円で、一般会計予算総額の最終予算額（人件費等含む）は5億95

区を先行導入し、本別・仙美里地区においても平成31年度に本格導入に向けて準備・調査を進める予定です。教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた審議を行ない、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

視点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

平成30年度の取り組みとしては、教育委員会と社会教育委員会が本町における「次代を担う子供たちをどう育んでいくか」などをテーマに意見交

流を行い、学校教育と社会教育とが融合し、一体となって取り組むことの重要性について再確認する機会となりました。

学校を核とした地域全体で子供たちの学びを育むため、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」については、勇足地

区を先行導入し、本別・仙美里地区においても平成31年度に本格導入に向けて準備・調査を進める予定です。教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた審議を行ない、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

視点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

平成30年度の取り組みとしては、教育委員会と社会教育委員会が本町における「次代を担う子供たちをどう育んでいくか」などをテーマに意見交

流を行い、学校教育と社会教育とが融合し、一体となって取り組むことの重要性について再確認する機会となりました。

学校を核とした地域全体で子供たちの学びを育むため、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」については、勇足地



年金Q&A マイナンバー編

その210

日本年金機構では、年金関係のマイナンバーを活用した情報連携を一部開始しており、年金請求書などの手手続きをする際、届出書にマイナンバーを記載していただくことになりました。

Q マイナンバーを届け出ると、年金に關する手續りが簡単になるのでしょうか。

A お答えします。

年金手帳を持参しないなくても、マイナンバーカード（または通知カードと本人確認書類）を提示することにより年金に関する照会が可能になります。

また、住所変更届や氏名変更届などの提出を省略できるようになります。

さらに、令和元年7月1日から、マイナンバーを利用した行政機関の情報連携によって、年金請求書などの年金給付関係手続きに必要な添付書類の照会が可能になります。

また、その他、届出や申請時の添付書類の省略も今後行う予定です。

Q 年金手帳は不要になるといいます。A お答えします。

年金手帳を持参しないなくても、マイナンバーカード（または通知カードと本人確認書類）を提示することにより年金に関する照会が可能になります。

また、住所変更届や氏名変更届などの提出を省略できるようになります。

さらに、令和元年7月1日から、マイナンバーを利用した行政機関の情報連携によって、年金請求書などの年金給付関係手続きに必要な添付書類の照会が可能になります。

また、その他、届出や申請時の添付書類の省略も今後行う予定です。

Q 年金手帳は不要になるといいます。

A お答えします。

年金手帳を持参しないなくても、マイナンバーカード（または通知カードと本人確認書類）を提示することにより年金に関する照会が可能になります。

③その他の手当（普通会計）					
手当名	内容および支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成30年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成30年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円、子1人につき 10,000円 父母等1人につき 6,500円 満16才の年度初めから満22才の年度末までの子1人につき 5,000円加算	同じ		11,736千円	230,118円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃→家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃→ (家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1 1限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕 借家限度額 27,000円 〔持家〕なし	16,510千円	187,614円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,200円 10km以上~15km未満 7,100円 15km以上~20km未満 10,000円 20km以上 12,900円	異なる	〔交通機関利用〕 55,000円 〔交通用具利用〕 20km以上60kmまで 5km刻みで支 給額を設定	1,040千円	41,600円
管理職手当	13% 院長、副院長、医長 13% 課長、室長、事務局長 12% 主幹	異なる	課長職定額 課長補佐職 定額	14,614千円	562,077円
夜勤手当	25%増し	同じ		151千円	50,333円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,334千円	21,175円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕51,700円	同じ		11,028千円	88,224円

◆特別職等の報酬等の状況

(平成31年4月1日現在)					
区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合			
給料	町長	747,000円	6月 2.025月分 12月 2.175月分 合計4.20月分 加算措置：当分の間支給停止		
	副町長	616,000円			
	教育長	562,000円			
報酬	議長	292,000円	6月 2.025月分 12月 2.175月分 合計4.20月分 加算措置：当分の間支給停止		
	副議長	230,000円			
	議員	185,000円			

◆職員の分限及び懲戒処分の状況

職員の懲戒の件数(平成30年度)

处分事由	地方公務員法	戒告	減給	停職	免職	合計
法令に違反した場合	第29条第1項第1号	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	第29条第1項第2号	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	第29条第1項第3号	0	1	0	0	1
合計		0	1	0	0	1

(注) 職員のうち地方公務員法に基づき懲戒処分に付された職員の状況であり、当該年度において同一の職員が複数回にわたって懲戒処分に付された場合は、重複して計上している。

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようにになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。

町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	289,700円	38.4歳
短大卒	345,100円	46.6歳
高校卒	309,900円	41.6歳
中学卒	367,500円	50.3歳
再任用	255,200円	61.0歳
平均	306,200円	41.7歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成31年4月1日現在における職員の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数

(平成31年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成30年4月1日現在)
		職員数	構成比	
1級	主事、技師、主事補、技術補	27人	24.3%	27人 24.6%
2級	主事、技師	6人	5.4%	5人 4.5%
3級	主査、副主査、主任	19人	17.2%	21人 19.1%
4級	課長補佐、次長、主査、副主査	27人	24.3%	27人 24.6%
5級	課長、室長、課長補佐、次長	17人	15.3%	16人 14.5%
6級	課長、室長、事務長、事務局長	15人	13.5%	14人 12.7%
合計		111人	100.0%	110人 100.0%

(注)・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
・平成19年度から6級制に移行している。

◆職員の初任給の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	本別町		国	
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料
一般行政職	大学卒	180,700円	192,400円	180,700円 192,400円
	高校卒	148,600円	157,000円	148,600円 157,000円

◆職員に対する手当の状況

①期末手当・勤勉手当

期末手当 勤勉手当	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり 平均支給額 (平成30年度)	1,407千円		—	
平成30年度 支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.85月分 (0.90)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.85月分 (0.90)月分
加算措置 の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 10%～25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

②退職手当

(平成31年4月1日現在)

支給率	本別町		国	
	自己都合	勧奨定年	自己都合	応募認定期年
勤続20年	19.6695分	24.586875分	19.6695分	24.586875分
勤続25年	28.0395分	33.27075分	28.0395分	33.27075分
勤続35年	39.7575分	47.709分	39.7575分	47.709分
最高限度額	47.709分	47.709分	47.709分	47.709分
その他の 加算措置	定年前早期退職 特例措置 (2%～30%)		定年前早期退職 特例措置 (2%～45%)	

本別町全域(本別市街地の

公共下水道区域を除く)で

合併浄化槽が設置できること

平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できることになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにごりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

令和2年度に設置を希望する人は、令和元年11月末日までにお申し込みください

受益者が負担する金額



個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎設置時 受益者分担金

※10人槽までは100,000円

※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります

(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後

●使用料(毎月)

5人槽	…3,183円
7人槽	…3,982円
10人槽	…5,163円
11人槽以上	…10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額

浄化槽の
汲み取り・点検は
町で行います

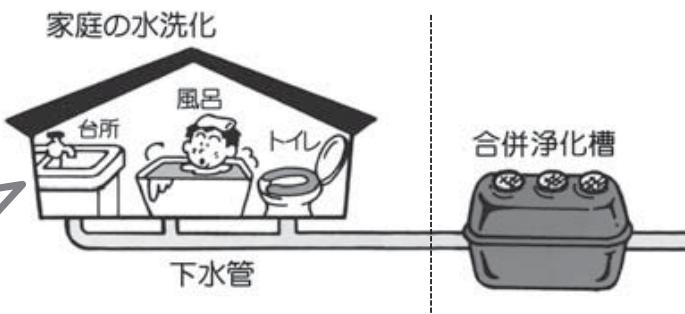
●電気料(毎月) ……約800円～1,800円

(5人槽～10人槽の場合)

浄化槽内のばっさりのためのもので浄化槽の規模により異なります



個別排水処理施設の仕組みと



排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎排水設備工事費

…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度 (住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当なりません



大募集!

登録無料

消防団応援の店



地域の安全・安心な生活を支える
消防団活動に対して、
サポートして頂ける飲食店や
企業等を募集します。

Q 「消防団応援の店」って何???

A 消防団員の皆さんは、それぞれ仕事をしながら、ご家族の協力のもと日ごろ訓練をし、火災やいろいろな自然災害など、いざという時に一生懸命活動しています。そんな、消防団員（家族含む）の皆さんに「ご苦労さま」という気持ちでさまざまなサービスを提供していただける飲食店や企業が「消防団応援の店」になります。サービスの提供は、地元の消防団員だけでなく、全道（全国）すべての消防団員が対象となります。

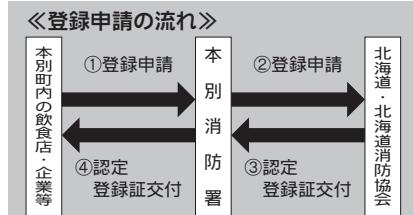
☆登録いただくと、こんなメリットがあります☆

- ・道内の約25,000人の消防団員とそのご家族が顧客として利用する
- ・北海道のホームページ等によるPR
- ・消防団員の確保と地域防災力の充実強化に協力する飲食店や企業としてイメージアップ



【登録証】
見やすい場所
に表示して
いただけます。

【サービスの例】
購入金額の5%割引
ワンドリンクサービス
ポイント2倍
※サービスの内容や開始時期は、応募いただいた飲食店や企業等で自由に決めていただけます。



◆ 登録を希望される飲食店や企業、または問い合わせは ◆

本別消防署 消防課消防係（☎22-2007）までご連絡ください

京都大学交響楽団演奏会



110人で編成されたオーケストラの迫力ある演奏

町芸術文化事業振興会（朝日基光会長）と町教育委員会主催による京都大学交響楽団演奏会が8月21日、中央公民館で開催され、来場者たちは、110人で大構成されたオーケストラの奏でる迫力ある演奏を満喫しました。



指揮者体験をする中央小学校 久保穂乃花さん



訪れた約300人の観客

約300人の観客を魅了

京都大学交響楽団は、1916年に設立された日本でも有数の伝統あるアマチュア楽団で、今回の道内旅行公演では6箇所を予定しており、十勝管内では本別町のみの開催。本町では、平成26年に来町して以来の5年ぶりの演奏会となりました。

演奏会では、楽曲「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」より第1幕への前奏曲（ワーグナー）で開幕し、ベートーベンの交響曲第5番「運命」やビゼーの組曲「カルメン」、となりのトロメドレーなど8曲を演奏し、オーケストラの力強い演奏で、町内外から訪れた約300人の観客を魅了しました。今回は、主催者からの依頼により本別高校校歌を演奏し、会場の全員で歌声を響かせたほか、演奏の合間に指揮者体験も行われ、趣向を凝らした演出に来場者から盛んな拍手が送られました。

地域や家族と ふれあう

8|25

町老人ホームのふれあいまつりが8月25日、同施設前駐車場で行われました。会場では、同施設職員手作りのカレーライスややきそば、かぼちゃだんご、おしるこなどが格安で提供され、本別義経太鼓保存会や本中吹奏楽部が演奏を披露。音楽健康指導士による健康体操では、童謡に合わせて体を動かすなど、入所者やその家族、地域住民など約250人の参加者たちは、催し物で互いにふれあいながら楽しいひとときをすごしました。



本別クラブが 全道出場を報告

8|26

十勝の予選で準優勝し、第50回記念全道マさんバーボン大会（10月5日、6日・札幌市）に出席を決めた、本別クラブの柏崎光子監督と笹森留美子主将が8月26日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全道大会出場を報告しました。笹森主将は「記念大会で強いチームが倍近く集まるが、上位を目指して頑張りたい」と抱負を語り、佐々木教育長は「大会まで一生懸命練習に取り組み頑張ってください」と激励しました。



平和の大切さを 学ぶ

8|22・23

本別中学校（寺島康博校長・120人）の2年生52人が8月22日と23日の2日間に分かれ、資料館企画展「7月15日本別空襲を伝える—本別から空襲を語る—」を訪れました。23日の見学では、資料館友の会会員の今野保雄さんを講師に、本別空襲での爆撃や機銃が打ち込まれる空襲の様子についての語り部を聞いた後、戦争の悲惨さを伝える貴重な展示資料を、今野さんから説明を受けながら見学しました。生徒たちは、真剣な表情で説明に聞き入り、平和の尊さについて学びました。



夏祭りで 楽しいひととき

8|24

清流の里による地域交流夏祭りが8月24日、同施設駐車場で開催されました。お祭りでは、同施設職員や清流町自治会（石山憲司会長）福祉部会員の協力により焼き鳥やフランクフルト、そうめんなどを提供する屋台や縁日などの催し物が用意されたほか、ギターの弾き語りライブや本別プラスアンサンブルによる吹奏楽演奏が行われました。参加した施設利用者や近隣の地域の人たち約100人は、お祭り気分を味わいながら楽しいひとときを過ごしました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

目指す学校像 子どもが輝く 『活力ある学校』

校長：東森誠記 児童数：27人 教員数：13人 PTA戸数：18戸



4月26日
1年生を迎える会

農園活動&搾乳体験 JA青年部の皆さまのご協力で



6月25日 野外体験活動
十勝エコロジーパークへ！



6月8日 運動会
地域・JA青年部の皆さまに支えられて

各学校の手作りページ

HELLO 仙美里小学校

白糠町で本別自慢の味覚をPR

9|8

町観光協会（朝日基光会長）などが9月7日、8日、白糠町で開催された「第27回カミングパラダイス」に出演し、豆や野菜など本別町自慢の味覚をPRしました。販売したのは、本別産の生豆やキレイマメ商品の味噌、豆腐のほか、トマト、なす、とうもろこしなど新鮮な野菜や黒豆味噌を使った豚まんの「黒まん」を含め54種類。白糠町民をはじめ、多くの来場者から注目を集め、大盛況となりました。



本高陸上部が全道出場を報告

9|9

十勝管内の予選を勝ち抜き、第35回北海道高等学校新人陸上競技大会（9月18日～20日・函館市）に出席する本別高校陸上部（佐藤碧惟部長）の生徒3人が9月9日、役場を訪れ、高橋正夫町長に全道大会の出場を報告しました。各選手たちは「自己ベストを更新します」と大会への抱負を力強く語り、高橋町長は「自分の力を信じて頑張ってください」と激励しました。



キックベースで盛り上がる

9|7

町教育委員会主催のあかげら少年団前期プログラム「キックベースに挑戦しよう！」が9月7日、ふれあい多目的アリーナで開催されました。参加した団員や一般参加者の児童10人は、スポーツ推進委員の指導のもと、最初にルールを覚えるため、攻撃と守備の練習を行った後、2チームに分かれてゲームに挑戦。はじめ戸惑いながらも、一生懸命プレーしました。試合では、どちらも譲らない点の取り合いとなり、とても盛り上がりました。



親子で楽しい時間

9|7

子育て支援センターほんべつで「子育て支援センターまつり」が9月7日、同センターで開催されました。まつりでは、手作りおもちゃの販売やおさがり会、子育てママの雑貨ショップのほか、「たけとんぼ」や「スイートポテト」による人形劇や紙芝居などたくさんの催し物が行われ、来場した幼児とその保護者など約160人は、楽しい時間を過ごしました。



地域防災意識を高める

9|5

柏木町自治会（澤田満会長）による避難訓練が9月5日、本別町生活館を主会場に行われました。訓練は、震度5強の地震を想定し、防災行政無線の屋外拡声器で避難を呼び掛け、指定避難所となる同生活館へ避難し、自治会の名簿に基づき避難困難者の安否確認などを実施。参加した同自治会の住民約70人は、避難指示に従い、隣近所で声を掛け合いながら避難しました。訓練終了後、澤田会長が「災害はいつどこで起きるかわからない。いろんな想定で訓練をつづけていかなければいけない」とあいさつしました。この他、参加者たちは、ダンボール簡易ベッドの組み立て実演なども行い、自助・共助の防災意識を高めました。



会長に井出壬午さんが再任

9|6

健康長寿まちづくり会議（井出壬午会長・22人）が9月6日、総合ケアセンターで開かれました。任期満了に伴う改選後初の開催となったこの日は、初めてに高橋正夫町長から出席者16人に任命書を交付。引き続き、互選により会長に井出壬午さん、副会長に澤田満さん、北谷志津子さん、事務局長に池田健さんに決定しました。再任で選出された井出会長は「改めて気合を入れ直し、町民が生涯健康でいられるようまた2年間頑張っていきたい」と抱負を述べました。その他会議では、福祉担当者から第7期銀河タウン福祉計画や介護保険事業の状況について報告されました。



中学生14人が全道大会に出場

8|26

陸上と卓球の全道大会に出場する本別中学校（寺島康博校長）の生徒12人と勇足中学校（椿原雅章校長）の生徒2人が8月26日、教育委員会を訪ね、佐々木基裕教育長に出場を報告しました。陸上では、十勝の予選で全道出場標準記録を突破し、北海道ジュニア陸上競技選手権大会と北海道中学校新人陸上競技大会に9人が、卓球では、十勝の予選を勝ち抜き、北海道卓球選手権大会（カデットの部）に5人が出場します。生徒らは、「決勝に残り入賞したい」「自分らしいプレーをしたい」と抱負を語り、佐々木教育長は「目標を達成できるよう頑張ってください」と激励しました。



防犯意識を高める

9|4

本別警察署（中野浩一署長）主催による「実践型防犯教室」が9月4日、中央公民館で開催されました。教室では、防犯設備士で新栄ロックサービス技術営業部高橋佳嗣課長を講師に、ピッキングやサムターン回避、ガラス割りなど泥棒の進入手口を紹介。防犯ガラスを実際にハンマーでたたいて割れづらさを体験する実演のほか、振り込め詐欺や言葉巧みに貯蓄情報を聞き出す「アボ電」などの特殊詐欺の手口についても説明しました。参加者たちは、窃盗や詐欺の手口について学び、防犯への意識を高めました。



自慢の歌声や ダンスに拍手

9 | 14

仙明カラオケ同好会（川東義一会長）主催による第19回カラオケと芸能の夕べが9月14日、仙美里地区公民館で行われました。発表会には、同会の会員や地域の施設職員など約20人の個人、3団体が出演。自慢の歌声や華やかなダンス、ヨサコイなどが次々と展開され、約100人の観客席から、大きな拍手が送られました。



親子で心肺蘇生 を学ぶ

9 | 9・10・13

救急の日に合わせ本別消防署と教育委員会共催による「親子で学ぼう！心肺蘇生法」が9月9日、10日、13日の3日間、同消防署で開催されました。開催初日の9日には、7組18人の親子が参加。消防職員から心肺蘇生法の説明のあと、実際に親子ペアになって救急患者の意識確認や人工呼吸、心臓マッサージに取り組んだほか、AEDの使い方も学びました。参加者たちは、本番さながらの緊張感をもって、真剣に訓練を行いました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

業務上横領事件に係わる監査の結果についてのお知らせ

元職員の業務上横領事件に係わる収納不明金につきまして、地方自治法第243条の2第3項の規定に基づき、監査委員へ賠償責任等の決定について求めておりましたが、令和元年8月29日付（本別町受付 令和元年9月2日）で監査結果の報告がありましたのでお知らせいたします。

監査の結果、町から監査を求めていた561,000円のうち、賠償請求の決定のあったものが475,000円で、86,000円につきましては、監査において確認がとれなかったものとして、賠償請求の決定とはなりませんでした。

この結果を受け、町としては賠償請求の決定となった475,000円の賠償請求書を元職員あてに送付し返金を求めるとともに、賠償請求の決定とならなかった86,000円につきましては、今後法的措置も含めて対応してまいりたいと考えております。

お詫び

広報ほんべつ2019年9月号（No.1091）15ページマイタウン「婦人ボランティアが50周年を祝う」の記事の中で、感謝状受賞者のお名前に誤りがありました。次のとおり訂正し、深くお詫び申し上げます。

誤：部田敏江さん
正：長利敏江さん

ご寄付ありがとうございます 令和元年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。（敬称略）

★特別養護老人ホーム物品等購入費指定
金 50,000円 勇足元町 佐藤 猛
個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 4,915,000円 340人

健康長寿のためには、毎日の呼吸を鼻から吸うこと（鼻呼吸）が大切です。無意識のうちに口で呼吸（口呼吸）している人は睡眠時を含めると約半数近くもいると言われています。前歯だけ歯石が付く、着色する、歯肉出血がある、唇が乾燥する人は要注意です。

鼻は高性能

鼻呼吸していますか？

う（二口の量
は少なめ）。

また、1日2

では、「加温・加湿器」です。口呼吸では、チリや雑菌がほとんど取り除かれない上に空気が十分加温・加湿されずに気管支や肺に送られ、病原菌が入りやすくなることで免疫力が低下し、病気になりやすくなります。鼻呼吸は、口鼻乾燥症の大きな原因の一つで、口臭や歯周病、虫歯の多発、さらには口内炎や口角炎の原因となります。

人間は、進化の過程で言葉を話す能力を獲得したことにより、口呼吸ができるようになつたと考えられています。たとえば授乳期の赤ちゃんはまだ口呼吸できません。そのた

回は口を閉じたまま15分ほどガムをかむ事をお奨めします（虫歯になりにくいシリトリール入りガムが良いでしょう）。正しい食べ方は、幼児期から青年期の歯列不正の改善にも効果があります。冬に向かうこれから季節、鼻呼吸で風邪やインフルエンザの予防に努めましょう。

「銀河の森天文台」よりお知らせ
プラネタリウム上映情報
銀河の森天文台は、毎週土曜日（月曜日は休館日）午後2時～午後10時30分（月曜日は休館日）上映日限定で「プラネタリウム」を上映します。望遠鏡による星空観察と併せてぜひご覧ください。皆さんのご来場をお待ちしております。

口番組名 「天文台の星空
～南半球チリの星白夜～」
口上映時間 1回目：午後3時
2回目：午後5時
3回目：午後8時
（各回約35分）
口定員 1回あたり20人
(当日先着順)
口開館時間 午後2時～午後10時30分
(月曜日 火曜日は休館日)
口入館料 小人(小・中学生) 200円
(毎回) 大人 300円
口問い合わせ 足寄動物化石博物館
☎ 251-9100

※小学生未満 無料
※お得なパワースポーツ
大人1,000円、小人600円
(発行日より1年有効)
銀河の森天文台
☎ 271-8100

みんなの 健康

422

め母乳やミルクを飲みながら同時に鼻で呼吸しています。1歳くらいまでは、赤ちゃんにとって鼻呼吸を訓練する大切な時期と言われ、離乳が早すぎると、頸や頬の筋肉の発達が不十分なまま成長し、楽な口呼吸に慣れてしまうと考えられています。

では、口呼吸を治すにはどうしたら良いのか？ 鼻炎等で鼻づまりが原因で起こる口呼吸は耳鼻科の場所で改善しますが、他の場合筋を鍛える方法は食事です。食事の際は正しい姿勢で、口唇を閉じて両側の歯で均等に30回噛んで食べましょう。

では、口呼吸を治すにはどうした

ら良いのか？ 鼻炎等で鼻づまりが

原因で起こる口呼吸は耳鼻科の場所で改善しますが、他の場合筋を鍛える方法は食事です。食事の

際は正しい姿勢で、口唇を閉じて両

側の歯で均等に30回噛んで食べましょ

う（二口の量
は少なめ）。

また、1日2

かむ事をお奨めします（虫歯になりにくいシリトリール入りガムが良いでしょう）。正しい食べ方は、幼児

期から青年期の歯列不正の改善にも効果があります。

冬に向かうこれから季節、鼻呼吸で風邪やインフルエンザの予防に努めましょう。

真っ暗な博物館の展示室を探索す

るナイトミュージアムは、今年七メ

キシコで行われる「死者の日」（日

本のお盆のようなお祭り）に倣い、

たくさんのガイコツが皆さんをお迎えします。さらに仮装をして入場し

る人には特典を用意しています。シールを貼るなどの簡単な仮装でも特に

がもれますので、ぜひお越しくだ

さい。

足寄町

ナイトミュージアム

口とき
午後6時～8時

足寄町・陸別町から



銀河ホラトロノン

ー足寄町・陸別町からー

戸籍のまど

お誕生

舞鶴陽向くん 遼佑さん 8/14 柏木町
各務有祐くん 剛広さん 9/14 北6丁目

おくやみ

粟田章子さん 68歳 8/7 上押帶
高坂フサ子さん 93歳 8/17 勇足東1
二瓶ス卫さん 95歳 8/18 共栄
伊藤充さん 76歳 8/25 南4丁目
小野寺れい子さん 95歳 8/30 西仙美里
村山貴一さん 96歳 9/3 柏木町
本間きよをさん 90歳 9/6 新町
小川鶴雄さん 74歳 9/13 新町
大留ヨシさん 102歳 9/13 東町

8月後半から
9月前半の
届出分

本のある 暮らし

223

謎解きの世界へようこそ 江戸川乱歩と乱歩賞

芸術の秋、読書の秋。秋の夜長にミステリー。今回は、ミステリー小説に贈られる江戸川乱歩賞と、その由来となった江戸川乱歩を紹介します。普段からミステリーを読む人も、乱歩の名前くらいは聞いたことがある人も、この機会に手に取ってみてはいかがでしょうか。



江戸川乱歩は、大正から昭和にかけて活躍した小説家です。明智小五郎が登場する「怪人二十面相」などでよく知られるように、推理小説を得意とし、推理小説というジャンルの基礎を築いたとも言われています。「人間椅子」「芋虫」のような怪奇小説を書くことでも有名です。

江戸川乱歩賞は、その乱歩が寄付したお金でつくられた賞です。毎年応募された長編推理小説の中から受賞作が選ばれ、この賞から多くの推理小説作家が誕生しています。



近年の江戸川乱歩賞受賞作



2018年受賞作

斎藤詠一『到達不能極』



2019年受賞作

神護かづみ『ノワールをまとう女』

※近日入荷予定

わたくしたちのまち

前月比

人口 6,956人(-16)
男 3,415人(-7)
女 3,541人(-9)
世帯数 3,640戸(-8)
〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称: ぶっくるーお)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112